

# 睦月

[むつき] 令和4年1月

新しい年を一家の人々で仲よく迎える月という意味で、睦には「むつみ」すなわち「なかよく親しみあう」の意味があります。

発行：北海道神社庁一区教化委員会

過ちては、改まるに憚ることなかれ

孔子・論語

## 今月のことば

過ちては、改まるに憚ることなかれ

孔子・論語

人間は完全ではないのだから、その一生のうちには、過ちを犯すことが多い。修行することは、完全に近くための過程なのだから、その間には試行錯誤が多いし、それを繰り返しながら、一步づつ向上していくのが、実際の人生行路である。過ちは、自分の思考力の不足から来ている場合が多いのだから、本当の物が掴まるまでは、何度も繰り返し、神のどこに本物があるかを探し求めるのがよい。過ちを二度と繰り返さないためにも、「改める」ことを怠ってはならない。「改める」とは本物を、心を新たにして、掴もうとする努力をいったものである。「心を新たにして」立ち向う。それ以外に向上的道は、「神道とは常に心を新たにして、進み行く道である」と信じて、一生倦まず、たゆまず、求めつづけようではないか。

(続神道百言 一般財団法人神道文化会編より抜粋)



### 孝行恩愛

子が親を敬い、慈しみつくすこと。親にかぎらず、あるものを慈しみ尽くすこと。

桜草（プリムラ）

### 鏡開

一月十一日  
お供え餅で開運

正月の間お供えしていた鏡餅をおさげしておしるこにして食べる行事です。鏡餅は刃物を使わないのがしきたりで、手や木槌で割るため切ると言わずに運を「開く」という意味をこめて鏡開きと言います。

「おせち」は年神様に供えるための供物料理であるとともに、家族の繁栄を願う縁起ものの家庭料理でもあります。

「おせち」は年神様に供えるための供物料理であるとともに、家族の繁栄を願う縁起ものの家庭料理でもあります。

「おせち」は年神様に供えるための供物料理であるとともに、家族の繁栄を願う縁起ものの家庭料理でもあります。

### 御節

おせち料理は  
神様に供える御節供

### 季節のまつり

Q、お参りの作法を教えてください

鳥居からくぐりますがこのとき、軽く一礼します。参道は中央を歩かないようにします。道の真ん中は、神様の通り道だからです。

境内に入ったら手水舎で清めをします。右手に柄杓を取つて清水に汲んで左手にかけ清めます。次に柄杓を持ち替えて右手にもかけます。そして再び持ち替えて、左の手のひらに水を受けて、口をすすぎます。最後にもう一度左手で水を流します。

拝殿の前に進み軽く一礼してから、賽銭を入れ、鈴があるなら鈴を鳴らして、二拝二拍手一拝の作法でお参りをします。この時正式には、礼は九十度に体を折り、拍手は両手を胸の高さに合わせ、右手を少し引いてから、二度拍手を打ちます。右手を戻して両手を合わせ、ここで祈願をします。最後にもう一度九十度の礼をして、軽く会釈をしてから下ります。

尚、神社によつては、一社の故実により異なるた作法をおこなつてゐるところもあり、伊勢の神宮の神職がおこなう「八度拝八開手」や出雲大社の「二拝四拍手一拝」などがあります。

令和4年  
2022年

1月

日

月

火

水

木

金

土

1 先負  
元日

歳旦祭  
三りんぼう とら

2 仏滅  
皇居一般参賀  
う

3 赤口  
元始祭  
たつ

4 先勝  
み

5 友引  
小寒  
三りんぼう うま

6 先負  
ひつじ

7 仏滅  
昭和天皇祭  
七草  
さる

8 大安  
とり

9 赤口  
いぬ

10 先勝  
●成人の日  
ふ

11 友引  
鏡開き  
ね

12 先負  
うし

13 仏滅  
とら

14 大安  
う

15 赤口  
小正月  
たつ

16 先勝  
み

17 友引  
土用  
三りんぼう うま

18 先負  
ひつじ

19 仏滅  
さる

20 大安  
大寒  
とり

21 赤口  
いぬ

22 先勝  
ふ

23 友引  
ね

24 先負  
うし

25 仏滅  
とら

26 大安  
う

27 赤口  
たつ

28 先勝  
み

29 友引  
三りんぼう うま

30 先負  
ひつじ

31 仏滅  
さる

《1日 元旦》  
年のはじめを祝う日です。

《10日 成人の日》  
大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます日です。

七十二候《1月》

すでに本格的な冬の季節で、寒風と降雪に悩されます。

大寒

小寒

初候・芹乃榮(せりすなわちさかう)  
次候・水泉動(すいせんうづく)  
末候・雉始雊(きじはじめてなく)  
初候・款冬華(かんとうはなさく)  
次候・水沢腹堅(さわみぞこありつめる)  
未候・鷄始乳(けいしりゆ)

安産祈願 1月の戌の日

9日(日)  
21日(金)

\*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕をしています。神社にお問い合わせください。

祝祭日には国旗を掲げましょう

【大寒】 だいがん … 二十日

ますます極寒の辛苦にさいなまれる季節ですが、春はもうすぐ間近にせまっています。

六曜・選日

《六曜》

【先勝】 … 諸事急ぐことによし、午後よりわるし

【友引】 … 朝夕よし、正午わるし、葬式を忌む

【先負】 … 諸事静かなることによし、午後大吉

【仏滅】 … 万事凶、患えば長びくおそれあり

【大吉】 … 何事をするにも吉の日、大吉日

【赤口】 … 諸事油断すべからず、正午のみ吉

〔選日の吉凶〕

〔三りんぼう〕 … 三隣亡日、普請始め、棟上大凶日

〔初候〕 … 三隣亡日、普請始め、棟上大凶日

〔次候〕 … 水泉動(すいせんうづく)

〔末候〕 … 雉始雊(きじはじめてなく)

〔初候〕 … 芹乃榮(せりすなわちさかう)

〔次候〕 … 水沢腹堅(さわみぞこありつめる)

〔末候〕 … 鷄始乳(けいしりゆ)

二十四節気

国旗「日の丸」をかかげましよう

国旗「日の丸」は朝日(昇る太陽)を象徴し、円満を意味しています。

「大和」としてきたことにも深い関係があります。さら」「日の丸」の赤は、明るさや情熱、勢い、誠を、白は清らかさや純粹、潔白を表しています。

んた日本人の精神性とも合致します。

まさに、日本国(の國)と日本人の心

を、そのまま形に表現した国旗は

「日の丸」を除いて他にないでしょう。

丸」はシンプルで美しい旗です。國

この歌は明治から今日まで唱歌と

して、小学校で教えられています。

この歌に歌われているように「日の

丸」はシンプルで美しい旗です。國

民ごぞつて祝い、感謝し、または記念する「国民の祝日」には、国旗を

掲げましょう。

ああ美しい 日の丸染めて

この歌は明治から今日まで唱歌と

して、小学校で教えられています。

この歌に歌われているように「日の

丸」はシンプルで美しい旗です。國

民ごぞつて祝い、感謝し、または記念する「国民の祝日」には、国旗を

掲げましょう。

ああ美しい 日の丸染めて

この歌は明治から今日まで唱歌と

して、小学校で教えられています。

この歌に歌われているように「日の

丸」はシンプルで美しい旗です。國